

小学生とレゴ・ブロックのワークショップをしました

「堀川納屋橋 100 年シンポジウム」で小学生が参加するレゴ・ブロックで橋をつくるワークショップのファシリテーターをしました。

☆シンポジウムのプログラム

このシンポジウムは、名古屋建設事業サービス財団が主催しました。土木技術の研鑽、普及のために毎年行っています。今年は、納屋橋の築後 100 年を記念して「橋」に焦点をあてたシンポジウムとなりました。

シンポジウムと併せて、未来の技術者へ志向を願って小学生 10 人にレゴ・ブロックで橋を作るワークショップを行いました。講演終了後に、参加者が小学生の作品を見学するという流れで進めました。

ワークショップの方では、「橋の目的」「橋の構造」についてのレクチャーとアマチュア・レゴ・ビルダーからのアドバイスをもらいながら、橋をつくりました。



☆小学生のコメント

- ・ 橋にはいろいろなものが通ることがわかりました。楽しかったです。
 - ・ アドバイスをもらって、水しぶきを工夫しました。カッコいい橋ができました。
 - ・ 橋の上を公園にしました。遊べる橋ができました。楽しかったです。
- など、みなさん楽しく作り、勉強にもなったようです。

☆大人のコメント

- ・ 大人では発想しないようなアイデアが出た。
 - ・ みんなそれぞれ工夫していて、見て楽しい、行きたくなるような橋だなあ。
 - ・ アーチ型といっても基本的なものだけでなく、バリエーションがあり、素晴らしいです。
- などなど、小学生の発想に感心したコメントがたくさんありました。

*橋を作り始めたとき、レゴの入っているビニールの袋をパッと開けてあげると、急に子どもたちの表情が変わりました。目がきらきらと輝いて、レゴにのびる手の速さが格段に違ってきました。子どもたちの表情が変化するところをみるのは、とても幸せです。